

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 715 号 令和 2 年 12 月

令和 2 年度第 2 回理事会の開催

常務理事 福島和彦

令和 2 年 10 月 29 日（木）の午後 1 時 30 分から今年度第 2 回理事会を開催しましたので、概要をお知らせします。最初に、田中会長から①新型コロナウイルス感染症の拡大と冬季を迎えるにあたりインフルエンザ対策等講ずるの必要があり、今後も感染防止対策をしっかりと行う必要がある事、②新型コロナウイルス感染症拡大の中、半年が経過。学会をはじめ各種会議の中止状況、及び国においては、経済活動を再開し始めている事、③そうした中でも総務委員会の開催、小動物講習会の開催等、協力を得ながら実施できるものは実施し、全国会長会議についても書面決議となり、動物感謝デーも中止となった事、④日本獣医師会獣医学術学会年次大会については、1 年スライドした方法で実施が予定されており、令和 4 年度については、第 22 回アジア獣医師会連合（FAVA）大会に併せて開催することとなり、この年の獣医学術中国地区学会は、本県が受持ちとなる予定であり、早めに準備を開始している事、⑤現職獣医師については、全てが 6 年制就学者となっており、自由民主党山口県連政策聴聞会をはじめ、知事、県議会議長へ処遇改善の要望書を提出したが、今後も根気よく継続要望を行っていく事、⑥新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式」「ワンヘルス」の認識が強まっており、今後リモートによる協議等も視野に入れ進めていきたい旨の挨拶がありました。続いて、小職から出席理事（12 名中 11 名）、監事（2 名中 2 名）の報告を行い、理事会の成立を告げました。その後、定款に従い、会長が議長となり議案審議を行いました。

第 1 号議案 令和 2 年度事業の進捗状況の件（報告事項）について資料に基づき小職から次の主要点について説明を行いました。

- ・褒賞関連：日獣会長、中獣連会長表彰の受賞者決定と伝達の予定について報告。
- ・会議関連等：書面決議、中止案件が増加している旨を報告。
- ・狂犬病予防注射関連：集計途中であるが、予定頭数（5 万頭）の 1 割弱の減少の可能性がある事を報告。
- ・動物医療相談関連：・診療関係：5 件（特定動物への MC 装着相談 1 件、診療クレーム 4 件）あり、診療クレームについては飼養者への傾聴と受け答えで解消でき、いわゆるコミュニケーション不足からの案件であり、インフォームド・コンセントにさらに留意して対応する必要がある事、また集合注射関係：3 件（コロナ禍の下での実施についての疑義）等を報告しました。議長は、説明内容について質疑の有無を諮り皆無であることを確認した後、本議案は、全会一致で了承され

ました。

次いで**第 2 号議案 令和 3 年度狂犬病予防注射（集合注射）の件**について①市町との協定に基づく集合注射料金関連として令和 2 年度と同額としたい旨、及び②今後の予防注射、登録の推進方法について県広報誌や県所有の媒体の利用、第 2 号議案の承認後に、市町に対し、理事会承認と予防注射と登録推進の広報用テンプレートの配布を予定している旨を説明しました。これについて、FM 山口の利用料金や広報誌発刊の時期について質疑がありましたが、結果として、出席理事全員による挙手により承認されました。

第 3 号議案 新規加入会員の件（2 名の新規加入）及び**第 4 号議案 委員会に係る委員交代（委員の都合による交代）の件**については、いずれも出席理事全員による挙手により承認されました。

第 5 号議案 山口県獣医師会各種規則・規程等の新設・改定の件については、会報第 713 号（令和 2 年 10 月号）でも総務委員会の検討内容を報告しており、これらの規則・規程等については、今回、理事の方々に提示し、3 月理事会で承認をお願いする旨を説明し、第 2 回理事会の議案審議を終了しました。

その後、理事・監事の方々への伝達事項として、①動物愛護管理推進計画、②獣医療を提供する体制整備計画については、年明けには、パブリックコメントの募集もあると思うので、提示された素案をよく検討して欲しい旨を依頼しました。その他、③日本獣医師会からの新型コロナウイルス感染症を踏まえた集合注射関連事項、④ 22 条の届出の遵守、⑤令和 3 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和 4 年 1 月 21 日～23 日に神戸国際会議場で開催予定）、令和 4 年度については、最終的には、学会運営委員会で決定されますが、本県受け持ちの獣医学術中国地区学会を令和 4 年 9 月 3 日～4 日に山口グランドホテルで開催を予定している旨を説明し第 2 回理事会を無事終了しました。



会長挨拶



第 2 回理事会の開催

山口支部研修会報告

山口支部長 藤原宣義

山口支部では隔年ごとに視察研修を実施していますが、今年はコロナ禍の中で実施するか否かを理事会に諮ったところ、近場で開催することとなりました。11月15～16日に世界遺産の石見銀山と島根海洋館アクアスの視察研修を計画し、参加者を募ったところ、時が時だけに参加希望者が少なく、漸く7名に達したので実施しました。マイクロバスへ乗る前に全員マスク着用、検温と手指の消毒をし、乗り降りの際は消毒を励行し、3密を避け感染防止に努めるよう注意して出発。まずは中国道の紅葉を堪能し、広島三次ワイナリーでワインの試飲と昼食、三瓶高原経由で石見銀山へ到着。間歩までの2～3キロを元気に歩く者、試験運行中で無料のグリーンスローモビリティに乗る者。間歩入口で集合写真の後、頭を打たないように少し中腰になりながら銀採掘の歴史を学び、間歩を通り抜け、また徒歩とモビリティに別れて駐車場へ、少々時間がかかり宿泊の「いこいの村島根」には5時半到着となり、入館時に体温測定を受け、早速入浴、食事となりました。時節柄大声は出さずに静かな懇親会となりました。翌朝は天空の里からの紅葉と雲海を期待したのですが、

生憎薄っすらとしか霧はかからず雲海とまではなりませんでしたが。体温測定と消毒の上、浜田へ向け出発。

「海洋館アクアス」では海洋生物の生態とペンギンの食事やシロイルカのバブル輪くぐり等を見学。山陰絶景の夕陽パーク三隅で昼食。益田経由とのことで雪舟600年に因み、益田市内の萬福寺と医光寺の雪舟作と伝えられる庭園や宝物を見学。夕刻には無事帰途につきました。その後発熱等が無いが少々心配でしたが、今のところ全員健康のようなので安心しています。毎回のことながら松田芳行先生には長距離の運転をお願いしお疲れさまでした。また、万障合わせて参加いただいた皆様有難うございました。



島根海洋館アクアスにて

リレー随筆

Do It Yourself

この度、清時先生よりバトンをいただきました、山口市、西京の森どうぶつ病院の浦野と申します。リレー随筆は、今回で2回目？3回目？ぐらいなのですが、のらりくらりと生きておりますので、何か新しい趣味を始めたわけでもなく、なかなかネタに困ってしまいます……。趣味というより私の中では節約の分類になりますが、数年前に住宅ローン持ちになってから、ケチケチ根性に芽生え、家具や内装を自作する、いわゆる流行りのDIYを初めてみました（出来上がりはお粗末なものです。DIYといふとなかなか格好がつくものです）。まずはじめに手を出したのが本棚、ネットで無垢材の切り売りのサイトを調べ、寸法を測り、注文しました。木材の種類は一番、値段もお手頃で加工もしやすいパイン材を選択。届いた木材は寸法もぴったり、問題なかったのですが……。やはり手動のドライバーではダメですね、手首を痛めそうだったので、みんなのホームセンターナフコ（地元、東海地方ではナフコはスーパーのイメージでした……）に行き、初めての電動工具、電動ドライバーを購入しに行きました。いろいろ種類があって、凝り性の私にはとても悩みました。ドリルドライバー or インパクトドライバー？、コード式 or 充電式？、何V？、値段もメーカーもピンキリです。DIYの流行りもあって、信頼のMAKITAから素人DIY用の充電式14.4Vのインパクトドライバーが販売されていたので、それを購入しました。当然、作業効率は上がり、2日ぐらいで塗装も含めて2mぐらいの大型棚が出来あがりました（塗装材の話もしたいのですが、文字数もあるので割愛）。今回、電動ドライバーがDIYの立役者かと思いきや……。実は一番のお気に入りには『ダボ』です。別に珍しくもなんともないこのダボ、なかなかのやり手です。ダボというのは、木の円柱状の小片で

山口支部 浦野 充夫

(西京の森どうぶつ病院)

サイズもいろいろ、釘を使わず、木材の固定もできるし、釘を打ったところの目隠しにもなり、出来上がりに玄人感が出るのがこの『ダボ』です。漢字では『太柄』『駄柄』と書き、語源はドイツ語の『Dubel』からきてるらしいです。こんなに調べてしまうくらい気に入ってます。ダボを差し込む『ほぞ穴』を開ける専用のインパクトドライバー用のアタッチメントもありますし、これからDIYをされる方はお勧めです。私もこの目立たぬ木小片のような人生を歩みたいものです（笑）。ケチケチ根性の私としてはインパクトドライバーの元を取るため、その後、子供の学習机、本棚、パソコン机、テレビ台などなど、小さいものから大きいものまでいろいろ手を出しました。イチから勉強して、こだわり始めて、道具もいろいろ揃えとなかなか根気のいるのがDIYですが、軌道に乗るといろいろ手を出すのが楽しくなります。今までは家具とか内装が多かったですが、今後はウッドデッキなど外装にも手を出していこうと模索しております。皆様の中でDIYがご趣味の方がおられましたら、ご指導、ご鞭撻いただければ幸いです。



一番のお気に入りは『ダボ』

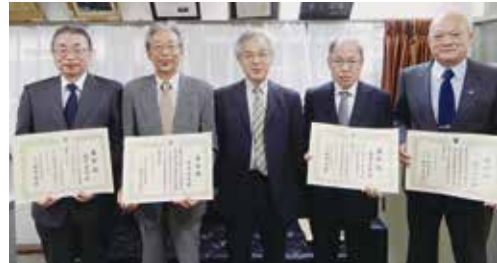
次回のリレー随筆のバトンを山口支部ナナ動物病院の鈴木和弘先生にお渡しします。

令和2年度日本獣医師会会長表彰および中国地区獣医師会連合会会長表彰の伝達

常務理事 福島和彦

令和2年11月19日（木）午後から標記表彰の伝達式を行いました。本来であれば、中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区学会に併せての表彰ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため本大会、地区学会も中止となり、開催担当県の（公社）岡山県獣医師会から賞状、記念品が本会に送られてきました。表彰された藤原宣義先生、大江正人先生（以上、日本獣医師会会長表彰）、藤井満貴先生、森重正幸先生（以上、中国地区獣医師会連合会会長表彰）の日程調整のため、伝達が遅れましたが無事終了することができました。田中会長からの祝辞と今後も引き続いて山口県獣医師会への協力依頼が行われました。なお、本会からは各表彰者へ記念品とし

て2人の女性スタッフが選び抜いた、フレグランスフラワーが送られました。会員の皆様と共に4名の方々の表彰の喜びを分かち合いたいと思います。4名の皆さん、受賞まことにおめでとうございます。



左から藤井先生、藤原先生、田中会長、森重先生、大江先生

子供と休日に見つけたある寄生虫の話

下関支部 吉村 大一郎

（よしむら動物病院）

今年は新型コロナウイルスの影響でほぼ全てのイベントが中止や延期となり、家にこもっている時間が必然的に長くなっている。休日にも外出は必要最低限で、その分普段できない片付けや掃除をするかというそんなこともなく、ただダラダラと1日過ごしていることが多い。これまで忙しさに感じてと言いつつ、単なる怠け者ということがバレバレになってしまった今日この頃である。子供の休みに合わせて病院を閉めてみるも、結局どこにも出かけず（出かけられず？）家でテレビを観たりゲームをしたりして過ごすという状態である。これじゃいけないと思い、小さい頃は自然大好き生き物大好きだったが、高校生になってからは友達とのオンラインゲームに没頭して出不精になっている息子を何度も行ったことのある豊田ホテルの里ミュージアムになかば強制的に連れ出した。ただ、目的は館内の見学ではなく、その付近の田や畑や川での虫取りや魚とりである。

現地に着いたら持って来た魚網を携え、まずは川魚を見つけにかかった。時期的に稲刈りのシーズンだったので、田にも用水路にもほぼ水はなく、川にはめだかやハヤ（？）の稚魚が見られる程度だった。川魚取りは早々に切り上げ、稲の刈り取られた田んぼのあぜ道を抜け、古いアパートの立つ団地の下で用水路が2段になって流れている道路に出た。この用水路は水がたつぷりとあるが流れがかなり早く、魚などがいるようにも見えない。すると子供が用水路のそばで何か見つけた様子だった。1匹の大きなカマキリである。こんなところにカマキリがいるのかと思いよくよく周りを見渡すと、数メートル間隔くらいで大小4匹くらいが見つかった。その時にある寄生虫のことを思い出した。昭和世代で自然の多いところで子供時代を過ごされた方ならご存知かも知れないが、ハリガネムシというカマキリやカマドウマなどの昆虫に寄生する水生生物のことである。子供の頃カマキリを水の中で溺れさせるとお尻からクネクネしながら出てきていたのを思い出した。

早速つかまえたカマキリの1匹を魚網に入れ用水路の水に腹の部分だけ浸かるようにして20秒くらいしてあげてみたらお尻から黒っぽいやつが1匹ニルニルと出て来た。次に水に入れたカマキリからは5匹くらいがウジャウジャと出て来て絡み合いながら蠢いている。地面に置いたままにしていたら乾いて動かなくなり見た目もそうだが、触って見ると硬くて本当に針金のような感じだった。4匹のカマキリ全てにハリガネムシが寄生していた。スマホで写真を撮ったが、出て来ているところを動画に残しておけばよかったと後悔した。カマキリは全部水辺から離れた草むらに逃がしてやった。

自宅に帰ってハリガネムシについて調べて見ると、いろいろなことがわかった。類線形虫類といって線虫類から進化したような生き物の総称で日本では14種類が確認されており、体長が数cmから1mに達する事。コオロギを使った研究では、寄生されまことに入水しようとしている個体だけに脳内にある種のタンパク質が見つかり、それは場所認識や光反応や日周行動に関わるタンパク質と似ていて、水辺に近づいたら飛び込むと言う異常行動を操作をしているんじゃないかと言う事。この一連の行動が溪流の生態系にも影響を及ぼしていると言う事（ここでは宿主はカマドウマが対象になる）などである。

まだまだコロナ禍は収まりそうにないが、たまには家から出て脳に刺激を与えることも必要だと感じた休日だった。



輪ゴムじゃないよ！



ハリガネムシだよ！

新入会員紹介

はじめまして



皆さん、はじめまして。私は2019年3月から山口大学共同獣医学部の臨床獣医学講座/外科系診療科に所属しており、本年度より山口県獣医師会に入会させていただきました。堀切園 裕（ほりきりぞの ひろ）と申します。私の出身は東京都ですが、この少し（かなり？）珍しい苗字は父の故郷である鹿児島県指宿市が由来です。余談ですが、鹿児島県には「～園（ぞの）」という苗字が多いようです。山口大学動物医療センターにご紹介いただく先生方や飼い主様にはほぼ必ず名前を聞き返され、煩わせてしまいまして大変恐縮ですが、お見知りおきくださると幸いです。

私は山口大学に着任する以前は、大学・大学院ともに日本大学の獣医外科学研究室に所属しており、「悪性腫瘍に対する血管新生阻害療法」や「特発性乳び胸の完全内視鏡下治療」などについて、実際の臨床と共に幅広く学ばせていただきました。大学院在籍時には、これらの臨床研究の一旦を代表してまとめ、アメリカの獣医外科学会で発表する機会が得られ、国内では日本獣医師会年次大会で受賞することができました。これは私にとってかけがえのない貴重な経験であり、学んだこと全ては自分の大きな財産となっております。浅学非才な学生であった私に、本当に温かくご指導をいただきました恩師である浅野和之先生および石垣久美子先生、昼夜を問わず一緒に診療に取り組んでくれました当時の外科チームのみならずには今も大変感謝しております。

山口大学動物医療センターでは、今まで行ってき

山口大学支部 堀切園 裕

（山口大学共同獣医学部臨床獣医学 / 外科系診療科）

た外科治療以外にも、学生時代に取得した第1種放射線取扱主任者の資格を活かし、リニアックを用いたメガボルト放射線治療にも携わっております。特に、強度変調放射線治療（IMRT：腫瘍の形に合わせて高線量を照射し、正常組織への副作用を低減できる照射法）は非常に治療精度が高く、脳腫瘍や鼻腔内腫瘍などの手術が困難な部位に対しても、とても効果的な印象です。先進国におけるがん治療（人医療）の50%以上は放射線治療が用いられているようで、今後は獣医療においても放射線治療がメインストリームになると強く感じております。

ここから少し趣味の話をさせてください。もともと小学生の頃は釣り少年でしたが、山口県に移住して、久しぶりにやってみたサビキ釣りが楽しくて20年振りに自分の中で釣りブームが到来しました。全く本格的ではないのですが、時間を見つけては穴釣り、五目釣り、ルアー釣り、エギングなど、色々と試行錯誤しながら釣っては調理して美味しくいただいております。山口の海はどこも透明度が高くとても綺麗なため、魚が釣れなくても海にいただけで幸せな気持ちになります。地元の方にとっては当然かも知れないのですが、これには本当に感動しました！

このように新しい環境に囲まれながら過ごしてきましたが、周囲の支えもあり山口県での生活や動物医療センターでの診療にも慣れてきて、充実した毎日を過ごしております。今後も山口県の獣医療に貢献できるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

結婚しました

美祿支部 鶴田 祐哉

（農林総合技術センター畜産技術部）

私事ではございますが、令和2年10月31日に山口教会（サビエル記念聖堂）にて挙式を行い、入籍いたしました。

結婚に向け動き出した3月は、まだ新型コロナウイルスも全国的に広まっておらず、挙式・披露宴ともに実施できると思っていましたが、あれよあれよという間に全国へ拡大、緊急事態宣言と披露宴どころではなくなりました。挙式日も二転三転しましたが、多くの方のご協力のもと、無事に挙式を行うことができました。親族のみの小ぢんまりとした挙式でしたが、当日は天候にも恵まれ、幸せなひと時を過ごすことができました。

結婚して1番変わったことと言えば、家にいる時間が一人ではなくなったことでしょうか。ご飯を食べるときも、テレビを見るときも、何をすることも二人になり、いままでより楽しい時間を過ごせています。しかし、一人ではないゆえに、今までは気楽に食べていたインスタントラーメンやカップ麺をあまり食べられなくなったのは悲しいです。手頃でよ

かったのに…。

仕事も4月から新しい職場に移り、この度結婚したため、昨年からの生活が大きく変わりました。どちらも慣れないことばかりで日々奮闘中ですが、2人で協力しながら楽しく過ごしていきたいと思っております。



（お幸せに！）

訃報

江本帰一先生の逝去を悼む

宇部厚狭支部長 米 澤 弘 雄



当支部会員の江本帰一先生が、去る10月19日、肺炎のため逝去されました。享年92。

先生は、昭和3年宇部市厚南の旧家江本家の長男（故江本東進先生の兄）として誕生され、昭和21年山口獣医専をご卒業後、宇部市役所に入所、家畜の診療、防疫、畜産行政に携われ、宇部市の畜産振興に敏腕を奮われ、更にその後は、宇部市農林行政の要となる農業委員会事務局長に就任、市農林行政全般の指導に尽力されました。

平成元年に市を退職、第一線を退かれ、奥様（故、元山口大農学部長、植物病理学者・日野 巖博士の息女）とお二人で悠々自適な生活を送られています。

たが、今年2月に自宅屋外で転倒、打撲症で近くの老人施設に入居、車椅子の生活でしたが、元気に日々を過ごされていました。10月に入り急に体調を崩され肺炎を併発、コロナ禍の下に奥様も思うような看病もできない中で10月19日正午、奥様に見守られ安らかに旅立たれたとのことでした。

葬儀は、親族のみの家族葬で10月21日に営まれ、11月13日に当支部に、その旨の連絡を受け、11月17日に小職が弔問、先生のご霊前にお参りさせて頂きました。奥様からは、故人に寄せられた長年の御厚誼に対する謝辞と獣医師会への連絡が事後通告になったことに対しお詫びの言葉がありました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

合掌

事務局からのお知らせ

獣医師法第22条に伴う届出について

令和2年は、2年ごとに行われる獣医師法第22条に伴う届出の年です。会員の皆様には、本会から届出専用用紙を11月18日付け事務連絡でお送りしております。忘れずに、下記の関係家畜保健衛生所に提出してください。

獣医師免許をお持ちの皆様へ

令和2年12月31日現在の状況を、お住まいの都道府県に届け出てください。

- 獣医師には、獣医師法第22条に基づく2年ごとの届出が義務付けられています。
 - 令和2年は届出が必要です。
 - 届出様式に必要事項を記入の上、令和3年1月1日から1月31日までに、お住まいの都道府県に提出してください。
- ※届出様式や記載方法は農林水産省HP（下記URL）に掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/syouan/tikusui/zyui/22.html>

- ◆ 期日までに届出をしなかった場合、免許の取消し又は業務停止を命じられることがあります。
- ◆ 集計結果は獣医師の分布、就業状況、異動状況等を的確に把握するために利用されています。

※ 結婚等により、本籍地の都道府県名、氏名や性別が変更された場合は、変更があった日から30日以内に、登録事項の変更申請が別途必要です。詳細は、農林水産省HP（下記URL）に掲載しています。
<https://www.maff.go.jp/syouan/tikusui/zyui/menkyo.html#b>

農林水産省 消費・安全局
畜水産安全管理課獣医事班



届出窓口

- 東部家畜保健衛生所（〒742-0031 柳井市南町1丁目10-3） 玖珂・熊毛・徳山支部会員
- 中部家畜保健衛生所（〒754-0897 山口市嘉川671-5） 防府・山口・美祢・宇部厚狭・県庁・山大支部会員
- 西部家畜保健衛生所（〒750-0421 下関市豊田町殿敷1892） 下関・豊浦・長北（長門市）支部会員
- 北部家畜保健衛生所（〒758-0061 萩市椿3621-1） 長門市を除く長北支部会員

事務局だより

- 11月13日 ・やまぐち和牛肥育技術研究会 山口市（翠山荘）
- 11月19日 ・日本獣医師会会長表彰・中国地区獣医師会連合会会長表彰伝達式 山口市（県獣会館）
- 11月20日 ・第2回動物愛護管理推進計画検討委員会 山口市（県庁）
- 11月25日 ・会報編集委員会 山口市（県獣会館）
- 11月26日 ・日本獣医師会部会委員会 東京都（リモート会議）
- 11月27日 ・故 河野博行先生 お別れの会 光市（ホテル松原屋）
- 11月19日 ・事業推進会議

次回編集委員会 12月23日(水) 13:30~

山口県獣医師会会報 第715号 令和2年12月10日（毎月1回発行）

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 上 田 晋 平

発行責任者 田 中 尚 秋

印刷 コロニー印刷